

令和7年度文部科学省委託事業
図書館・学校図書館と地域の連携協働による読書のまちづくり推進事業

読書のまちづくり 推進事業事例集



「読書のまちづくり推進事業」とは

事業のきっかけ



読書を取り巻く全国的な状況として、活字離れのほか、書籍入手方法の多様化による書店の衰退や地域活性化の場としての図書館活用など、図書館・書店等が対応を求められる課題は多岐に渡ります。

釧路市でも読書活動の推進を図るため、図書館をはじめとした関係団体が多様な取組を展開していますが、各年代への読書支援は十分に行き届いているとは言えず、学校での読書環境整備や読み聞かせ等を行うボランティアの確保等の課題を抱えています。

このような現状から、図書館・学校図書館・書店等の関係団体が連携した読書活動支援の取組を推進し、読書によるまちづくりを図る文部科学省の委託事業として本事業を実施しました。

どんな取り組み？



この事業は、図書館・学校図書館・地元書店をはじめとした読書推進の関係団体で組織された協議会を立ち上げ、釧路市教育委員会から各種事業の企画・実施等を協議会に再委託する形で実施しています。

各種事業は「子どもの読書活動推進に係る取組」「読書活動を支える人材育成の取組」「読書によるまちづくりの取組」の3分野に分けて取り組み、計8事業を企画・実施しました。

各事業の内容は次ページから紹介します。

協議会 体制図

釧路市教育委員会

- ・事務手続き全般
- ・全体の取りまとめ

再委託

協議会

- ・事業の企画と実施
- ・成果検証および事例集の作成

図書館

学校図書館

地元書店

町内会

連携・協働

P T A

商店街

ボランティア

協議会 構成団体

釧路市中央図書館・釧路市学校図書館協会・㈱リリアブル・釧路図書サービス・釧路市連合町内会・釧路市PTA連合会・学校支援ボランティア・おはなしネットほんぼん・くしろ北大通商店街振興組合・釧路市教育委員会

1

子どもたちの読書活動推進のための取組

主な連携先

図書館・学校図書館・書店

釧路市の課題

児童生徒の読書離れは全国的に進行しており、釧路市の子どもたちにおいても、1か月の間に本を1冊も読まない子の割合を指す「不読率」は小中高のすべての校種で増加傾向にあります。市内では学校における朝読書やボランティアによる読み聞かせ、本との出会いを創出する学校ブックフェスティバル等の取組を行っていますが、各学校での取組に差があることや、関係団体が個々に展開している事業は充実した内容であるにもかかわらず、事業が単発的になってしまっていること等が課題となっていました。

課題解決のために

図書館・学校図書館・行政が個々で取り組んでいる事業の情報を共有し、連携を図ることにより拡充できる事業がないかを模索する中で、小学校の国語科の授業でおすすめの本を紹介する単元を取り扱っていることと、市が採択している中学国語の教科書にビブリオバトルが掲載されていることに着目しました。

また、一部の学校ではブックトークやビブリオバトルに取り組んでいる学校もあるということで、おすすめの本紹介の取組とビブリオバトルの取組を各所との連携により全市的な取組に拡充することとしました。

とはいえ、小学校でいきなりビブリオバトルを行うのは難しいという声もあったことから、小学校ではビブリオバトルに繋げる取組として、その本を読んでもらいたい人と読んでもらいたい理由を3つ書いてもらう「おすすめ本紹介カード」に取り組んでもらうこととしました。

中学校ではすべての学校に対して国語科の授業におけるビブリオバトル実施について協力依頼を行い、あわせて中央図書館で行う大会にも各学校から代表生徒を派遣いただくよう依頼しました。

事業の実施にあわせ、地元書店には児童生徒が紹介した本のうち、図書館に所蔵がない本の手配と、特集コーナーの設置という部分で連携を図ることとしました。



取組 1

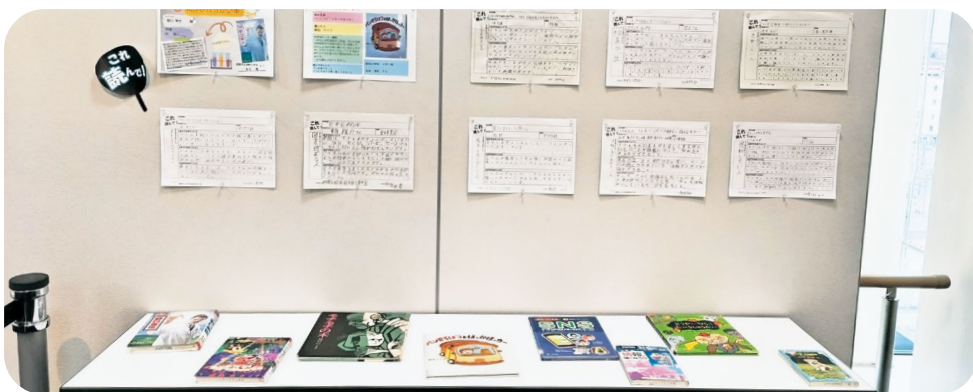
展示「○○な人これ読んで!」

開催日 令和7年11月9日（日）～ 11月23日（日）

会場 釧路市中央図書館 7階 展示室

展示数 113点

市内すべての小学校を対象に、一度読んだ本を読みなおすきっかけや新しい本を手にするきっかけとして、また、ビブリオバトル実施に向けて、読んでもらいたい対象を明確にすること、おすすめしたい理由を簡潔にまとめることを目的に「おすすめ本紹介カード」の作成に取り組んでもらいました。作成されたカードの中から各学校3～5枚を選考いただき、選ばれた全113点の紹介カードを本とあわせて図書館にて展示することで、子どもたちが校区関係なく同年代がすすめる本を知り、手に取ることができる機会を創出しました。



関連事業

釧路市児童生徒読書コンクール
入賞作品展での紹介カード展示



取組 2

中学生ビブリオバトル大会

開催日

《1週目》令和7年11月15日（土）
《2週目》令和7年11月22日（土）

会場

釧路市中央図書館 7階 多目的ホール

参加数

《1週目》61名 《2週目》75名 《計》136名

市内すべての中学校を対象に、読書意欲の喚起とビブリオバトルの普及を目的に、国語科の授業等においてビブリオバトルに取り組んでいただくよう依頼し、要望があった学校には図書館職員を派遣して実施に向けた指導等を行いました。

授業等での取組を次につなげるため、学校内での実施を「予選」、図書館での実施を「本大会」と位置づけ、各中学校から代表生徒を1名選出・本大会へ派遣いただき、代表生徒16名によるビブリオバトル大会を2週に分けて開催しました。

1週目の様子



1日目結果

チャンプ本：世界からボクが消えたなら
準チャンプ本：人生が一変する「遊ぶつきよう」の教え
準チャンプ本：墮落論

2週目の様子

2日目結果

チャンプ本：ケモノたちがはしる道
準チャンプ本：死神のイノリ
準チャンプ本：自分とか、ないから。



関連事業

図書館及び書店における
特集コーナーの設置



2

読書活動を支える人材育成の取組

主な連携先

図書館・学校図書館・ボランティア

釧路市の課題

読書に関心を持ってもらうには、本と人を繋ぐボランティア等の存在が必要不可欠です。

市内では学校を拠点とした読み聞かせや図書整備のボランティアのほか、市内の各所で読み聞かせを行っているボランティアがそれぞれ活動していますが、活動人数が減少傾向にあるとともに、活動に必要な知識や技術を向上させるような研修の機会を十分に確保することができていないという課題がありました。

また、子どもたちにとって最も身近な本がある場所である学校図書館について、整備を行うボランティアは小学校を活動拠点にしていることが多いため、各学校間のほかに小中学校間でも整備状況に大きな差があるとともに、特に中学校では図書室の場所を知らない生徒がいる等、学校図書館の整備及び活用について早急に対応していく必要性を感じていました。

課題解決のために

現在進行形で活動しているボランティアからこういった内容の研修等があると良いか聞き取りを行った上で、実際に事業を企画する際にも関わっていただき、開催日時や時間帯に無理がないか等を話し合いながら詳細を組み立てていきました。

学校図書館整備に関しては、小学校で活動するボランティアにも中学校図書室の整備にご協力いただけるよう、基本的な内容の座学を行った後、実際に図書室整備に必要な作業を体験いただく機会を作ることとしました。

図書館職員を「学校図書館指導員」として位置付けて行っていた巡回指導事業の中で、整備に必要不可欠な「整序」「ブックコート掛け」を行う学校での活動に参加いただくことで、本事業終了後もボランティアが中学校の図書室整備に入りやすく、また、学校にはボランティアの手を借りることが可能だと認識してもらうきっかけにしました。



取組 1

学校図書館整備についての勉強会

開催日 令和7年11月19日（水）

会場 釧路市中央図書館 7階 多目的ホール

参加数 9名

学校図書館整備の機運を高めることを目的に、釧路市学校図書館協会に講師を依頼し、学校図書館の役割や機能、ボランティア活動の意義等についてご説明いただきました。

また、釧路市教育委員会及び図書館司書より、市内各学校で取り組まれている学校図書館整備の事例を紹介し、ご参加いただいた方々の見聞を広げる勉強会を開催しました。

勉強会終了後、実際に学校図書館整備に必要な作業を体験する「実務研修」を実施しています。

第1部

「学校図書館の役割と機能について ～みんなで支える子どもの読書活動」

講師 釧路市学校図書館協会 副会長 中野 昌史 氏



学校図書館ガイドライン等を分かりやすく説明

第2部

「市内各学校での環境整備の事例紹介」

紹介者 釧路市教育委員会 生涯学習課 主事 岩田 悠里
釧路市中央図書館 副館長 續橋 史子

市内学校の取組を3つに分類して紹介



「中央図書館職員派遣指導事業」の改善事例を紹介

取組2

学校図書館整備の実務研修

- 開催日**
- ①令和7年11月21日（金） 青陵中学校【整序】
 - ②令和7年12月 4日（木） 景雲中学校【ブックコートかけ】
 - ③令和7年12月11日（木） 阿寒中学校【整序】
 - ④令和7年12月16日（火） 北 中学校【整序】
 - ⑤令和7年12月18日（木） 春採中学校【整序】

会場 各中学校の図書室

参加数 延べ16名

「学校図書館整備についての勉強会」の実務研修として、実際に整備に必要な作業をボランティアに体験いただきました。

実務研修は図書館職員指導の下で行い、作業の意味等について説明を受けた後、実際に作業をしながらイレギュラーな場合の対応や作業のコツについて指導を受け、理解を深めながら実践的な作業体験を行う機会となりました。



4名中3名が初めて作業

中学校図書館の環境整備事業

実務研修のほか、図書館職員を「学校図書館指導員」に位置付け、各中学校を巡回し、図書室整備等についての指導・助言を行いました。

巡回時期：令和7年8月 ～ 令和8年1月（計18回巡回）



特集コーナーの作り方を指導

取組 3

絵本を読もう!楽しもう!～読み聞かせ講座

開催日 令和8年2月21日(土)

会場 釧路市中央図書館 7階 多目的ホール

参加数 16名

絵本と読み聞かせに関する専門知識や経験が豊富な絵本専門士を講師に、読書の意義や子どもたちへの効果、絵本の特徴に合わせた読み聞かせの仕方等を学ぶ託児付き講座を開催。メソッドの伝授のほか、ご家庭での読み聞かせの困りごと等について絵本専門士が助言を行いました。

「読み聞かせ講座～子どもと読書をつなぐために～」 講師 絵本専門士 高木 真美 氏



読み聞かせの実演も



取組 4

絵本を読もう!楽しもう!～読みあいワークショップ

開催日 令和8年2月28日(土)

会場 釧路市中央図書館 7階 多目的ホール

参加数 14名

「絵本をとおしてひろがる!つながる!心が響き合う!」をテーマに、アイスブレイクを通してペアとなった相手のためだけに絵本を選ぶ楽しさや、自分のためだけに読み聞かせてもらえる嬉しさ、絵本をとおして心が通じ合う充足感を体験いただきました。

講師 おはなしネットぼんぼん 代表 原 しげ子 氏



相手の雰囲気にとぴったりな本を選ぶ



主な連携先

図書館・書店

釧路市の課題

平成30年2月に釧路市の中心市街地である北大通へ移転開館した釧路市中央図書館は、市内図書館施設の本館としての機能はもちろんのこと、中心市街地活性化の一端を担うことを期待された施設です。そのため中央図書館では文学講座のほか、北大通の店舗や官公庁と連携した講座を実施する等、まちなかの賑わい創出に向けた事業にも取り組んできました。

しかしながら、多様な事業展開が求められているものの、図書館単独で新規事業の展開や既存事業の拡充を図るまでの余力はないのが実情であり、地域と連携した事業の縮小や図書館を核とした地域コミュニティの衰退が懸念されています。

課題解決のために

これまで図書館に足を運んだことがない方にも足を運んでいただけるように、まずは読書の魅力を認識してもらう内容の講演会を企画することにしました。

講師の選定には地元書店にも関わっていただき、書店が持つ作家等との繋がりを活用させていただきながら、主なターゲットを読書離れが顕著な中高生・大学生とその保護者にしほり、若年層に支持を受けている講師のご紹介および講演依頼を行っていただきました。

図書館を核とした地域住民の交流促進を図るため、会場は図書館とし、講演会に向けた特設コーナーを設置いただく等、事業PRを兼ねた連携を図りました。

また、幼い頃から本に親しむ機会を設けることを目的に、親子を対象とした絵本作家を講師とするイベントを企画することとし、図書館での絵本原画展とあわせて、大人も子どもも楽しめるよう、トークイベントとワークショップの2部制のイベントを開催することとしました。



取組 1

講演会「教えてけんごさん!『読書沼』への落とし方」

開催日 令和8年2月15日(日)

会場 釧路市中央図書館 7階 多目的ホール

参加数 85名

読書の魅力の再認識や市内で読書の輪を広げることを目的に、SNS等で幅広い年代から支持を集める小説紹介クリエイター・紙上健吾[けんご@小説紹介]氏を講師とした講演会を開催しました。当日は講師とzoomを繋いでの開催となりましたが、SNSにはない読書の魅力や価値のお話など、幅広い年代の参加者を読書の世界へより一層引き込む時間となりました。

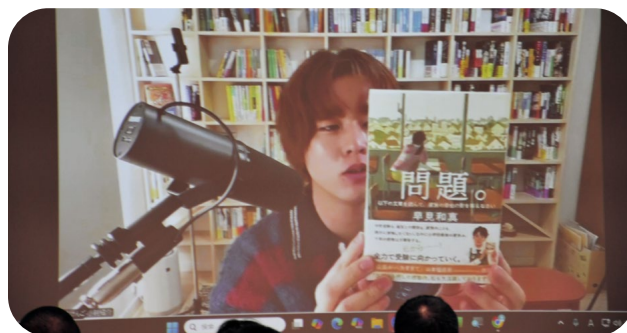
「自分のペースで楽しめるところが読書の魅力」



読み進まないときはどうしていますか？



本の保管や処分はどうしていますか？



おすすめ本も紹介いただきました



会場には講師の著書等を展示



取組 2

おしえてたねむらさん! えほんさつか たねむら ゆきこさん
おはなし&わーくしょっぷ

開催日 令和8年3月1日（日）

会場 釧路市中央図書館 7階 多目的ホール

参加数 36名

主に子育て世代を対象に、釧路市出身の絵本作家・種村有希子氏をお招きしたイベントを開催しました。

イベントでは種村氏ご本人による新作絵本の読み聞かせが行われたほか、参加者から事前に募集した質問をもとに、絵本製作の裏話や使用している画材のお話等をお聞きました。

お話をお聞きした後は、新作絵本「ドーナツづくりはたいへん!」にちなみ、ドーナツのスタンプで山盛りのドーナツを作る親子で楽しめるワークショップを開催しました。



「本を読むまち・くしろ」を目指して

読書によるまちづくりを進めていくためには、単発の取組で終わるのではなく、長く続いていく活動として広げていくことが大切です。さらに、子どもから大人まで、さまざまな世代の皆さんに読書の楽しさが届くような取組を重ねていく必要があります。

そのため、今年度実施した事業のうち、今後も続けていくことができるものについては、今回の取組で得られた気づきや課題を踏まえながら内容を見直し、より多くの方に親しまれる取組として継続・定着を図っていきます。

また、読書活動を広げていくためには、図書館や書店のほか、読書サークルやボランティア、子育て世代の皆さんなど、さまざまな立場の方たちとの連携が欠かせません。今回の取組を通して生まれたつながりを大切にしながら、より多くの方々が関わる取り組みへと広げられるよう検討を行っていきます。

今回の委託事業をひとつのきっかけに、今後も市民のみなさんとともに読書の輪を広げながら、「本を読むまち・くしろ」の実現を目指してまいります。





発行

読書のまちづくり推進協議会（釧路市教育委員会 生涯学習部 生涯学習課内）
《電話》(0154)31-4579 《MAIL》sh-shougaigakushuu@city.kushiro.lg.jp